媒体名	教育学術新聞 第2635号	版／面	4面	掲載日	2016年2月23日（火）

シーボルトの書簡

神田外語大で発見

弟子の賀来に送付

神田外語大学（酒井邦弥学長、千葉市美浜区）は、一八二八年十一月にシーボルト事件が発生し、国外追放になる直前に、賀来宛に自筆で記して送付した。門下生だった賀来に関しては歴史上謎が多く、今回の発見により、植物学におけるシーボルトの一番弟子とされている伊藤圭介と並ぶ重要人物であることが判明した。

オランダ語で記されたこの書簡からは、シーボルトが賀来に植物目録の訂正を依頼している内容が読み取れ、同時に賀来の語学力（オランダ語）が門下生の中で突出していたことから、師から厚い信頼を受けていた人物であることが分かった。

この書簡が書かれたあとシーボルト事件が発覚し、一八二八年十二月にシーボルトは出国を差し止められ、翌年二月から出島に幽閉。一八三〇年一月に国外追放になった。賀来は一八二八年の末頃まで長崎県に滞在、シーボルトの日本植物目録の完成に協力した。

シーボルトの書簡は日本に六通現存しているが、国外追放前に日本植物研究について書かれたものとしては日本で初めて発見された。

神田外語大学（酒井邦弥学長、千葉市美浜区）は、一八二八年十一月にシーボルト事件が発生し、国外追放になる直前に、賀来宛に自筆で記して送付した。門下生だった賀来に関しては歴史上謎が多く、今回の発見により、植物学におけるシーボルトの一番弟子とされている伊藤圭介と並ぶ重要人物であることが判明した。

オランダ語で記されたこの書簡からは、シーボルトが賀来に植物目録の訂正を依頼している内容が読み取れ、同時に賀来の語学力（オランダ語）が門下生の中で突出していたことから、師から厚い信頼を受けていた人物であることが分かった。

この書簡が書かれたあとシーボルト事件が発覚し、一八二八年十二月にシーボルトは出国を差し止められ、翌年二月から出島に幽閉。一八三〇年一月に国外追放になった。賀来は一八二八年の末頃まで長崎県に滞在、シーボルトの日本植物目録の完成に協力した。

シーボルトの書簡は日本に六通現存しているが、国外追放前に日本植物研究について書かれたものとしては日本で初めて発見された。